

自治体に唯一設置されている2学級以下の県立高校の現状

(1) 地元市町村の中学校卒業生数^{※1}の推移

町村	高校名	H26	H31	R4	R7	R10	R10/H31
最上町	最上校 ^{※2}	82	78	73	70	63	0.81
金山町	金山校 ^{※3}	57	53	50	36	40	0.75
真室川町	真室川校 ^{※4}	75	69	61	42	48	0.70
白鷹町	荒 砥	141	130	104	108	112	0.86
小国町	小 国	79	77	58	58	52	0.68
遊佐町	遊 佐	127	104	102	90	81	0.78
河北町	谷 地	194	158	143	165	111	0.70
大江町	左 沢	85	59	59	64	59	1.00

※1 学校基本調査による卒業生数及び生徒数、市町村教育委員会による幼年人口調査による。

※2 新庄北高校最上校 ※3 新庄南高校金山校 ※4 新庄神室産業高校真室川校

(2) 入学定員と入学者数（過去5ヶ年）

平成	新庄北最上校			新庄南金山校			新庄神室産業真室川校			荒砥 ^{※5}		
	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者
27年度	40	30	29	40	39	37	40	18	18	80	75	71
28年度		21	21		22	21		24	23		58	58
29年度		26	26		29	29		31	31		61	61
30年度		24	22		26	26		20	20		47	47
31年度		9	8		15	15		9	8		43	43

平成	小国			遊佐			谷地			左沢 ^{※6}		
	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者	定員	志願者	入学者
27年度	80	45	44	40	19	19	120	123	121	120	95	95
28年度		31	31		42	40		129	120		105	104
29年度		26	26		38	37		101	101		96	96
30年度		25	25		37	37		148	121		86	86
31年度		40	22		22	18		18	80		55	55

※5 荒砥：令和2年度より1学級（40名）の募集

※6 左沢：令和2年度より2学級（80名）の募集

（入学者数減少の主な要因）

- 地元地域の少子化に伴う中学校卒業生数の減少
- 小規模化が進むことによる教育活動の制限

(3) 地元就職の状況（過去3ヶ年総計）

	最上校	金山校	真室川校	荒砥	小国	遊佐	谷地	左沢
就職数	57	42	36	103	63	46	46	160
地元就職数 ^{※7}	34	17	20	70	36	34	21	83
地元就職率	0.60	0.40	0.56	0.68	0.57	0.74	0.46	0.52

※7 地元就職とは管内就職のこと

（高校の存続による地元自治体の期待）

- 地元企業への就職者数の確保、企業の安定的雇用の維持
- 若者の定着による出生数の増加、地域の活性化と定住の促進